



パキスタン洪水被災復興支援カンパのご協力をお願いします！

2022年8月にパキстанを襲った大洪水では、国土の1/3が水没しました。多くの農村が被害を受けて被災者は700万世帯に及び、復興には数年以上がかかると言われています。

現地での支援活動

グリーンコープが^{※1}JFSAを通して支援している、アル・カイルアカデミーは、洪水発生直後から現地で被害状況の調査と被災した人々へ食糧、毛布、テント、蚊帳などを届け、支援活動を行っています。

今回、アル・カイルアカデミーは、支援の全く届いていないシンド州ダドゥ地区ブンド村の人々と話し合いを重ね、村人と共に家屋再建に取り組むことを決めました。JFSAの呼びかけにより、グリーンコープもカンパでアル・カイルアカデミーの支援活動に協力したいと考えます。

ぜひ、カンパのご協力をよろしくお願いします。

※1 特定非営利活動法人 日本ファイバーリサイクル連帯協議会(JFSA)

※2 **アル・カイルアカデミー**は、パキスタンのスラム地区に住む子どもたちが通う無料の学校。生徒の多くが厳しい暮らしをしていて、働きながら学んでいる生徒もいます。ファイバーリサイクルの売り上げは、学校運営の資金になります。

アル・カイルアカデミー ムザヒル校長先生より、支援の呼びかけがありました。



グリーンコープのみなさん！
どうぞ私たちの活動を支援してください



2022年11月、グリーンコープ地域運動交流集會にて上映された動画を、約2分半にまとめました。
ぜひご覧ください！

アル・カイルアカデミーによる支援の様子など、詳しくは裏面をご覧ください→

●カンパ金の使途

- 1 シンド州ダドゥ地区ブンド村の家屋の建設費用(資材費、労賃など)
- 2 支援活動を行うためにアル・カイルアカデミーが現地を訪問する経費(生徒・スタッフの被災地訪問、滞在の費用など)
- 3 パキスタン派遣中のJFSA事務局による被災地訪問経費、カンパ金を集めるための事務経費(ニュース発行・郵便振替用紙代など)

パキスタン 洪水被災復興支援カンパ

004

一口 200円

005

一口 500円

■共同購入申込書の申込番号の数量欄に口数をご記入ください。

※【例】申込番号 **004** の数量欄に「2」と記入された場合は 400円のカンパとして受け付けさせていただきます。 **何口でも申し込みます**

パキスタン・ブンド村の被害状況

ブンド村には150家族が暮らしていて、家の再建が必要な世帯は125軒あります。2023年5月までにはJFSAからの資金と他の寄付を合わせ30軒の家屋が作られ、最も厳しい状況にある家族が入居しています。

ブンド村は、夏期には気温が50度を超え、冬期には4度になる気候の厳しい地域で、あと95軒の家屋が必要だといえます。



崩れた家屋と残ったレンガの山



家屋を1軒建てるのに約20万円必要

■ アル・カイルアカデミーの支援活動

突然の災害で多くを失った村人は、公的な支援を受けることも無く、また助けを得られる期待もなく日々を過ごしていたそうです。そんな中、アル・カイルアカデミーと出会ったことで、再び自信と敬意を持つことができたことに感謝しているといえます。

アル・カイルアカデミーではこの支援活動を通じて、生徒やスタッフがこれまで知らなかった農村の人々の暮らしを知り、困った人を助けることに意欲を持って取り組んでいることに大きな意味があると言っています。

グリーンコープは、アル・カイルアカデミーが行う支援に協力するために、カンパに取り組みます。どうぞ、アル・カイルアカデミーと共に、ブンド村の人々の暮らしの再建にお力添えをいただけますようによろしくお願いいたします。



村人から話を聞き取る生徒たち(青いキャップがアル・カイルアカデミーの生徒たち)



家屋の建設中

● カンパ活動の取り組み

- 1 アル・カイルアカデミーが支援活動を続けている、シンド州ダドゥ地区ブンド村の家屋の建設を、村人たちと共に進めるためのカンパを呼びかけます。
- 2 支援活動は生徒たちも参加して行い、生徒・スタッフが村人たちへの支援活動を通して知った農村のくらしと被災した人々の思いの情報を共有します。
- 3 JFSAは、共有した情報をニュース発行や会報、ホームページなどを通じて、会員、支援メンバー、カンパに協力いただいた方たちをはじめ多くの人たちに伝えます。



JFSAの
ホームページ

ぜひ、ご協力ください！カンパの申し込みは25号でもできます！